

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第4週の発生動向

□ 全数報告の感染症（4週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 7 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：つつが虫病 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、百日咳 7 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	肺結核	咳、痰
			80 歳代	女	肺結核	咳、発熱
			90 歳代	男	肺結核	痰
		延岡	40 歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			90 歳代	男	結核性胸膜炎	発熱、胸痛
4類	つつが虫病	都城	70 歳代	女	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感、筋肉痛
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	都城	70 歳代	女	—	発熱、意識障害、肺炎、菌血症
		都城	5~9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦
	10 歳代		女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦	
	百日咳	高鍋	10 歳代	女	—	持続する咳
		日向	5~9歳	男	—	持続する咳
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	男	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 3,936 人(定点当たり 79.4)で、前週比 105%と増加した。なお、前週に比べ増加した疾患は伝染性紅斑と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

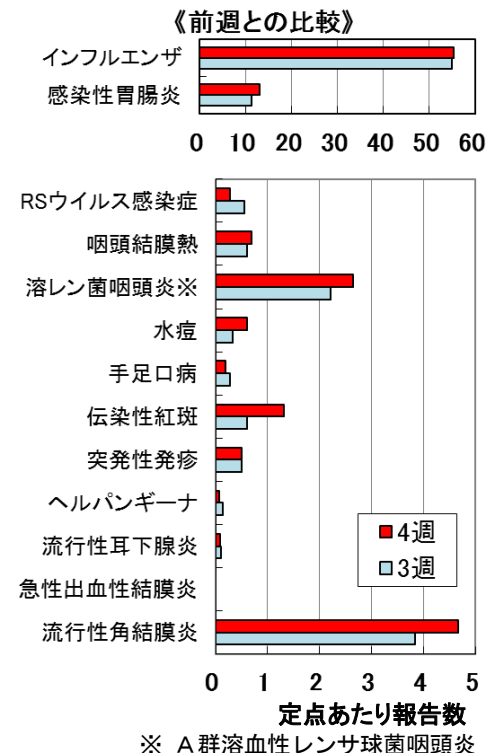
【インフルエンザ】

報告数は 3,210 人(55.3)で、前週比 101%とほぼ横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値*(50.8)の約 1.1 倍である。高千穂(68.5)、都城(67.6)、中央(67.0)、延岡(64.1)保健所からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 5 割を占めている。

【感染性胃腸炎】

報告数は 469 人(13.0)で、前週比 116%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(11.7)の約 1.1 倍である。小林(34.7)、日南(23.0)、都城(20.7)保健所からの報告が多く、年齢群別では 1~3 歳が全体の約 4 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均



★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
インフルエンザウイルスAH1pdm09	50歳代	女	2018.12.17	インフルエンザA型、38.5℃、頭痛、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	2019.01.24
インフルエンザウイルスAH1pdm09	60歳代	女	2018.12.19	インフルエンザA型、38.4℃、筋肉痛、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	2019.01.24
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	男	2018.12.10	インフルエンザA型、40.0℃、胃腸炎(嘔気・嘔吐)	鼻汁	2019.01.24
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2018.12.10	インフルエンザA型、39.0℃、上気道炎	鼻汁	2019.01.24
インフルエンザウイルスAH1pdm09	5～9歳	女	2018.12.10	インフルエンザA型、38.9℃、上気道炎(咽頭痛)	咽頭ぬぐい液	2019.01.24
インフルエンザウイルスAH3	50歳代	女	2018.12.25	インフルエンザA型、37.7℃、頭痛、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	2019.01.24
インフルエンザウイルスAH3	5～9歳	男	2018.12.17	インフルエンザA型、39.9℃	咽頭ぬぐい液	2019.01.24
インフルエンザウイルスAH3	40歳代	女	2018.12.13	インフルエンザA型、38.3℃、上気道炎(咽頭痛)	鼻汁	2019.01.24
ライノウイルス	10歳代	男	2018.12.10	急性弛緩性麻痺の疑い、麻痺、四肢筋力低下	鼻汁	2019.01.21
ライノウイルス	10歳代	男	2018.11.28	エンテロウイルス脊髄炎疑い、上気道炎(咽頭痛)、下半身の脱力	咽頭ぬぐい液	2019.01.21
ライノウイルス	10歳代	男	2018.10.30	急性胃腸炎、39.0℃、頭痛、上気道炎(咽頭痛、咽頭痛)、胃腸炎(下痢、腹痛)	鼻汁	2019.01.16
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2018.12.03	手足口病、37.1℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.01.24
コクサッキーウイルスA6型	0～4歳	男	2018.10.29	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.01.25
アデノウイルス2型	0～4歳	女	2018.12.04	川崎病、アデノウイルス感染症、下気道炎(気管支炎)、上気道炎(咽頭痛)、発疹	咽頭ぬぐい液	2019.01.25
アデノウイルス35型	10歳代	男	2018.06.17	後天性赤芽球ろう、腎機能障害、血尿、蛋白尿	尿	2019.01.11

○インフルエンザと診断された8名からインフルエンザウイルスが分離された。2019年1月29日現在の全国のインフルエンザウイルス分離・検出情報をみるとAH1pdm09が最も多く、次いでAH3、B型の順となっている。当所では今シーズンに入り、AH1pdm09が6件、AH3が5件、B型(ビクトリア系統)が2件分離されており、AH1pdm09がやや多い傾向となっている。全国的にインフルエンザが流行しているため、手洗いうがいやマスクの着用など感染予防策をとることが重要である。

📊 全国 2019 年第 3 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 3 週)

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	261 例			
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	10 例	
4類感染症	E型肝炎	5 例	A型肝炎	13 例	オウム病 2 例
	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	7 例	デング熱 7 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	25 例	
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症 26 例
	急性脳炎	19 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 13 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症 14 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	54 例	水痘(入院例) 4 例
	梅毒	61 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風 1 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	222 例	風しん 60 例
	麻しん	20 例			

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 125%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと手足口病で、減少した主な疾患は水痘と咽頭結膜熱である。

インフルエンザの報告数は 267, 596 人(53.9)で前週比 140%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(26.9)の 2 倍である。愛知県(81.9)、埼玉県(70.0)からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 5 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 2, 804 人(0.88)で前週比 88%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.31)の約 2.8 倍である。宮城県(4.4)、新潟県(2.6)、山形県(2.4)からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めている。

手足口病の報告数は 539 人(0.17)で前週比 121%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(0.16)の約 1.1 倍である。沖縄県(0.79)、徳島県(0.70)、鳥取県(0.68)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳が全体の約 4 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2019年 第04週(01月21日～01月27日)

疾病名		第03週	第04週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3187	3210	874	676	449	231	288	208	137	213	134
	定点あたり	54.95	55.34	58.27	67.60	64.14	46.20	57.60	34.67	68.50	35.50	67.00
RSウイルス 感染症	報告数	20	10	2	4	3					1	
	定点あたり	0.56	0.28	0.20	0.67	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	25	4	2	5	4	1			8	1
	定点あたり	0.61	0.69	0.40	0.33	1.25	1.33	0.33	0.00	0.00	2.00	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	80	95	29	13	18	7	5	17		4	2
	定点あたり	2.22	2.64	2.90	2.17	4.50	2.33	1.67	4.25	0.00	1.00	2.00
感染性胃腸炎	報告数	405	469	61	124	10	69	104	51	4	35	11
	定点あたり	11.25	13.03	6.10	20.67	2.50	23.00	34.67	12.75	4.00	8.75	11.00
水痘	報告数	12	22	9	3	1	5		2		2	
	定点あたり	0.33	0.61	0.90	0.50	0.25	1.67	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	10	7	2	2		2			1		
	定点あたり	0.28	0.19	0.20	0.33	0.00	0.67	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	22	47	23	5	4	12		2		1	
	定点あたり	0.61	1.31	2.30	0.83	1.00	4.00	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00
突発性発しん	報告数	18	18	6	2	2	1	2	2		3	
	定点あたり	0.50	0.50	0.60	0.33	0.50	0.33	0.67	0.50	0.00	0.75	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	5	2				1		1			
	定点あたり	0.14	0.06	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	3	1	1		1					
	定点あたり	0.11	0.08	0.10	0.17	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	23	28	27		1						
	定点あたり	3.83	4.67	9.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～4週)

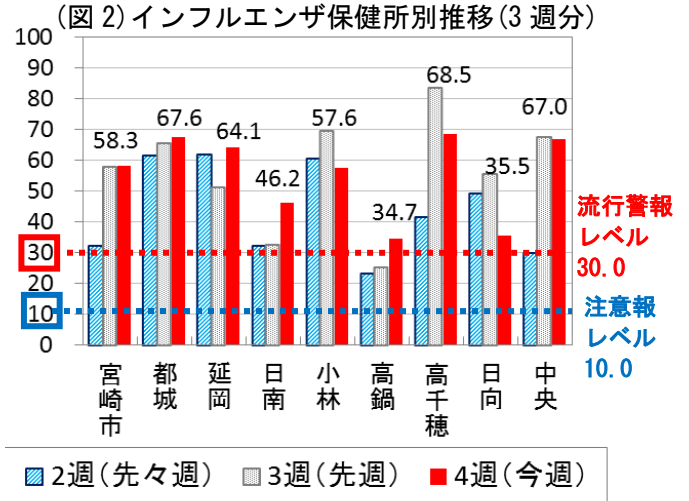
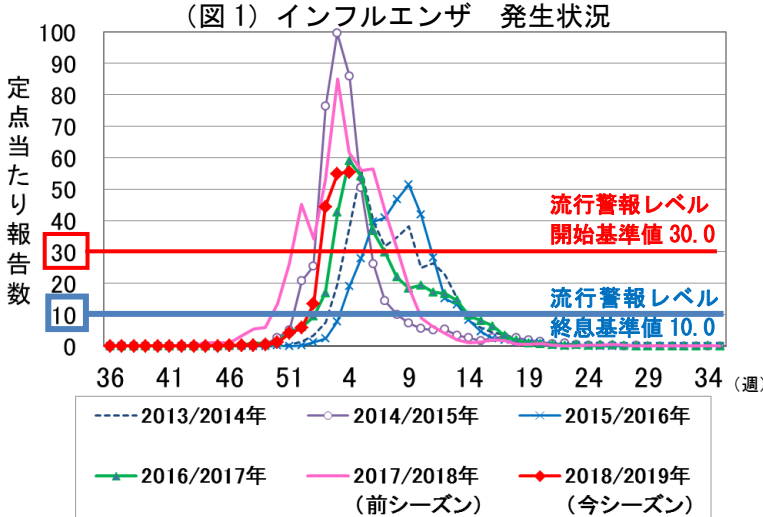
2類感染症	結核	14例(7)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例				
4類感染症	つつが虫病	3例(1)				
5類感染症	ウイルス性肝炎	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例(1)
	百日咳	22例(7)				

()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第4週、全国第3週（再掲）》

□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

2019年1月21日～1月27日までの1週間で3,210人（55.3）の報告があった。前週の約1.0倍と横ばいで、例年同時期の定点当たり平均値*（50.8）の約1.1倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の23%、5-9歳が30%、10-14歳が17%、15-19歳が5%、20-59歳が18%、60歳以上が7%を占めている（図3）。 * 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

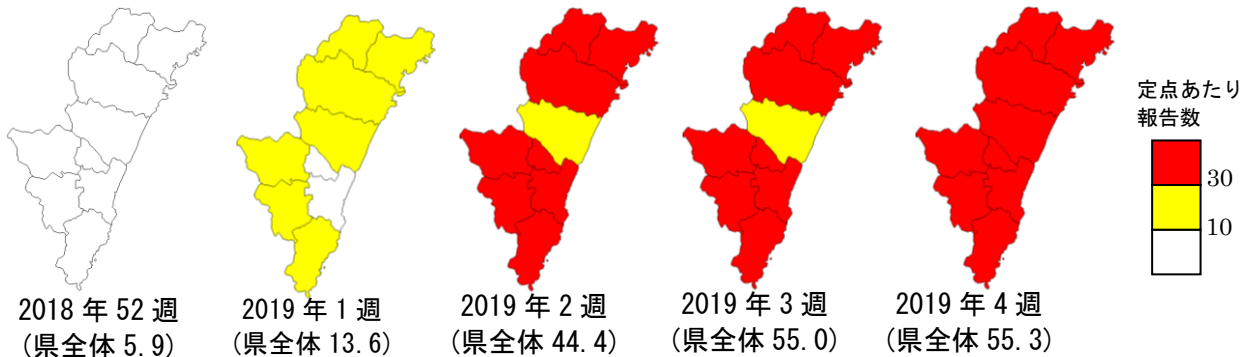


(図3) 年齢群別割合の推移(2018年第52週～2019年第4週)

52週 345人 1週	20%	32%	18%	5%	19%	6%
787人 2週	22%	17%	11%	7%	36%	7%
2,577人 3週	21%	24%	17%	5%	25%	8%
3,187人 4週	24%	26%	17%	5%	20%	8%
3,210人 4週	23%	30%	17%	5%	18%	7%

□ 5歳未満 ■ 5～9歳 ▨ 10～14歳 ■ 15～19歳 □ 20～59歳 ■ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2018年第52週～2019年第4週



□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

2019年1月14日～1月20日までの1週間で267,596人（53.9）の報告があり、前週の約1.4倍と増加した。愛知県(81.9)、埼玉県(70.0)、静岡県(69.4)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の20%、5-9歳が26%、10-14歳が15%、15-19歳が5%、20-59歳が25%、60歳以上が9%である。